

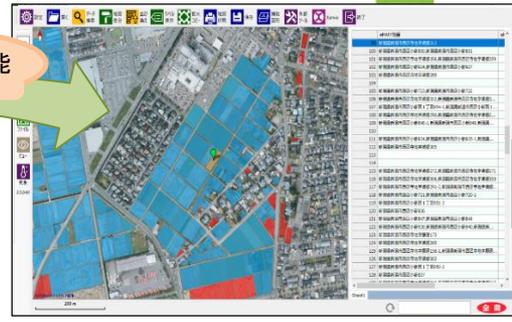
32 営農管理システム(Z-GIS)の導入

- 経営の大規模化により煩雑化した圃場管理作業をサポートします。
- 圃場ごとの作業内容(作業時間や施肥・防除履歴等)を記録し、クラウド化して情報の共有化を実現します。

- インターネット上の地図を用いて圃場情報や営農情報を管理するシステム
- 圃場毎の特性や作業計画・履歴等を自在にエクセルの操作方法で入力管理

●圃場登録(ポリゴン作成)作業が大幅に軽減されました！
 ※eMAFF農地ナビから「地番入り圃場データ」の読み込みが可能に！

【活用イメージ】



eMAFF農地ナビ画面

【Z-GISを核としたデータ連携】



NTTデータ 営農管理システム (JAの生産部会管理に好適、Excelファイル介してZ-GISと連携(2019年8月より))

天晴水 (国際航業の人工衛星リモートセンシング、水稻、麦、大豆を対象、2020年4月よりZ-GISと連携開始)

気象情報 (アビネスの気象情報と連携、積算気温等を簡単に計算可能(2019年4月より))

土壌診断 (本会の「全農広域土壌診断システム」と連携予定)

ドローン・ラジコンヘリ (農業散布の依頼・記録、リモートセンシングをファイル介してZ-GISと連携予定)

栽培管理支援システム (気象、土壌、リモートセンシング、栽培記録等様々なデータを統合し、生育予測、施肥・防除、収穫適期などのアドバイスを行うシステムを開発し、Z-GISと連携する)

営農改善支援 (本会の営農計画画定支援システム「Z-BFM」との連携を検討中)

データを集約して見える化・管理

※枠線あり：連携済み
 枠線なし：今後連携を進める
 点線：R2年度開発

<無料お試し版>

1か月間、無料のお試しIDを利用することができます。

<Z-GIS紹介>

基本操作をご覧いただけます。

<Z-GIS活用事例>

先輩ユーザーの事例はこちらから。

地図に圃場を登録し圃場情報や営農情報等を自由に蓄積